

III. 主要課題の整理

本町の都市の概況及び特性、アンケート結果を整理し、以下にその概要をまとめました。

都市構造上の問題特性による主要課題

現況の特性

南北の森林や集落周辺の田園環境など、自然環境に囲まれている
住宅開発や産業系土地利用が進展し、活力がある
宅地利用可能な平地が少ない（農用地区域が指定されている）
小規模な住居系の開発があり、人口は微増傾向
国道沿道を除き、市街地が分散している。人口密度も低い
道路は、東西が主方向となるため混雑する。南北幹線は東西に比べて細く、路線も少ない
文化・教育施設や総合運動公園など、都市的魅力が高まりつつある

<人口>

- ・ 昭和 40 年より増加傾向を示し、平成 7 年に減少に転じたが、平成 12 年には増加に転じた。平成 13 年以降も増加傾向にある。民間住宅地への転入者増加
- ・ 出生、転入者が死亡、転出者を上回り増加傾向にある
- ・ 世帯数は増加傾向、世帯規模縮小傾向
- ・ 人口流入はあるが、少子高齢化が進行中（町の高齢化率 20.9%、県 20.2%、全国 18% H12 国勢調査より）

<産業>

- ・ 第 1 次産業人口の大幅な減少と同時にサービス業や卸売・小売業、飲食店を中心とした第 3 次産業人口増加。第 2 次産業人口は平成 7 年以降減少傾向
- ・ 農業主体のまちから、国道 2 号沿道に工場や店舗・事務所などが立地し、住宅団地開発が進み人口が急増。中心商業地は未発達

<土地利用・建物>

- ・ 工業団地、住宅団地等による生産と居住地の拡大
- ・ 開発許可件数は少ないが、0.5ha を超える住宅団地と 1.5ha の工業団地が整備済み
- ・ 小規模な民間住宅地開発が進行している
- ・ 農地転用は毎年 40 件程度で、面積は 2ha 程度である
- ・ 工業系土地利用と住居系土地利用の混在がみられる

<法規制状況>

- ・ 鴨方都市計画区域に属し、用途地域は指定されていない
- ・ 農用地区域は幹線道路沿線を除く平地に主に指定されている
- ・ 自然公園地域、自然保全地域は指定なし

<都市施設>

- ・ 東西方向の国・県道は比較的整備されているが、町道及び南北方向の幹線道路の整備が進んでいない
- ・ 整備済みの都市計画道路は、1 路線のみである
- ・ 生活道路の狭隘な区間や歩道が未整備な区間がある
- ・ 自動車需要により鉄道、バスの利用者減少
- ・ 小規模な広場等が分散しており、一定規模以上の都市公園は 1 カ所計画されているのみ
- ・ 公共下水道は一部供用を開始したばかり
- ・ 教育、文化の振興に積極的に取り組み図書館や文化ホールなどの施設を有する

まちづくりに関する 社会・経済の動向

- ・ 少子・高齢化の急速な進行
- ・ バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方の浸透
- ・ 広域交通網の進展
- ・ 価値観・生活様式の多様化、生活水準の向上
- ・ 住民参加の高まり
- ・ 環境保全意識の向上、循環型社会への転換
- ・ 情報技術(I T)の進展
- ・ 地方分権時代の到来

都市構造に関連する開発整備構想

- ・ 国道 2 号玉島笠岡道路整備
- ・ 町道里見 229 号線整備
- ・ 里庄町総合運動公園整備

都市づくりの主要な課題

1. 土地利用に関する課題

- 国道沿いの工業系土地利用と住居系土地利用が混在している地域について、住環境に配慮した土地利用の推進
- 農村集落、農地、開発団地、国道沿道の事業所などモザイク的な土地利用に対し、計画的な土地利用の誘導
- 従来の集落内に、新たな団地開発が進行するため、コミュニティの維持・形成を推進

2. 都市施設に関する課題

- 玉島笠岡道路の整備促進
- 国道2号の慢性的な混雑の解消
- JR山陽本線と国道2号との交差点箇所前後での渋滞の解消
- 渋滞に伴い旧国道へ流入する通過交通の排除と歩行者の安全確保
- 玉島笠岡道路の整備に伴うアクセス道路整備と良好な土地利用の誘導
- 公共交通サービス向上と駅周辺の整備
- 県道、町道及び都市計画道路の効率的整備
- 里庄町総合運動公園の早期供用
- 生活道路や公園などの居住環境関連施設の整備
- 公共下水道の整備促進

3. 都市環境に関する課題

- 農用地区域などの優良農地の保全
- 虚空蔵山周辺の里庄美しい森をはじめとした自然資源、歴史的資源の保全と有効活用

4. 産業振興に関する課題

- 産業立地を誘導する市街地環境整備の推進
- 役場周辺を都市拠点として、魅力ある市街地形成に努める

5. 都市の安全に関する課題

- 市街地やその周辺に古くからある住宅地での狭隘な生活道路や排水施設の整備
- 都市基盤施設のバリアフリー化の促進
- 交通量増大に伴う、歩行空間の整備促進

住民の声

住みよいまちである
自然に恵まれたまちである
高齢者や障害者が暮らしやすいまちである
特に道路整備を行ってほしい

まちづくりアンケート

調査期間：平成17年9月調査
調査対象：町内1,500世帯を無作為抽出
回収率：50.5%

以下は複数回答を含みます

- 住み心地
- ・ 住みよい、どちらかと言えば住みよい がほとんど (87.4%)
 - 現在のまちのイメージ
 - ・ 山や川の自然に恵まれたまちである (42.5%)
 - ・ 公害が少なく生活環境に恵まれたまちである (40.2%)
 - ・ 教育、文化施設の整ったまちである (38.0%)
 - 将来のまちのイメージ
 - ・ 高齢者や障害者が暮らしやすいまち (55.7%)
 - 里庄町らしさを表すキーワードは
 - ・ 明るい、笑顔、安心、ふれあい、優しさ、思いやり、活力、活気、教育、協調、共生、健康、心豊か、子育て、自然、福祉、住み良い、文化かある、緑豊か など
 - 土地利用について
 - ・ 農地等の荒廃が目立つ (40.4%)
 - 地域開発と自然保護
 - ・ 自然環境との調和を図りつつ地域振興のための適度な開発を進める (62.7%)
 - 農地の利用方法
 - ・ そのまま農地として利用する (37.3%)
 - 公共施設整備への協力
 - ・ 代替地があれば協力しても良い (38.2%)
 - 住宅地開発の適地
 - ・ まちの中心(役場周辺)から離れた環境の良いところに、住宅地を開発する (49.0%)
 - 生活したい場所の条件
 - ・ 交通の便が良いなら、まちの中心(役場周辺)から離れていても広いところに住みたい (56.0%)
 - 商業への要望
 - ・ 駐車場が整備された郊外型の大規模な店舗(スーパーなど)を誘致する (37.8%)
 - 商店利用場所
 - ・ 町外の商店、ショッピングセンター (76.2%)
 - 工業系土地利用は
 - ・ 今のままで良い (42.9%)
 - 道路整備の優先度
 - ・ 狭い道路の多い地区の道路整備 (60.5%)
 - 道路整備要望
 - ・ 車道2車線6m程度片側歩道 (30.1%)
 - 公園・緑地の整備要望
 - ・ 身近な広場や公園の整備 (23.1%)
 - 特に望むこと
 - ・ 道路整備 (44.9%)、下水道の整備 (41.5%)
 - 災害に強いまちづくりへの対策
 - ・ 狭い道路整備・解消 (60.0%)
 - 町民参加について
 - ・ 「ハガキの提言」、「住民意見箱」などの機会があれば参加したい (26.9%)

前述した、都市づくりの主要な課題（1．土地利用に関する課題、2．都市施設の関する課題、3．都市環境に関する課題、4．産業振興に関する課題、5．都市の安全に関する課題）について、以下のように整理します。

主要課題図

